



附中だより

2018年9月20日

第7号

宮城教育大学附属中学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目4番1号 電話 022-234-0347 FAX022-234-0301 <https://fu-cyuu.miyakyo-u.ac.jp/>

市駅伝大会

男子 25位 女子 13位

この夏、襷を繋ぐことに全てをかけた駅伝部の選手たち。代表二人が、熱い思いを書きました。人として大きく成長できたことや、来年駅伝に出場する後輩へのメッセージを読み取ることができます。来年の駅伝に向けての準備は、もう始まっています。

3年 内海 さん

僕たちの一夏をかけた駅伝が終わってしまった。

今まで僕たちは、辛い練習を仲間たちと乗り越えてきた。選手だけでなく、夏休み初めての練習に集まってくれた全ての仲間と共に。練習が激しくて、やめたいと思った人もいるだろう。そして、駅伝をまだ続けたいのにやめなくてはいけなかった人もいたろう。でも、そんなみんながいたから、僕たちは走ることができたのだ。ありがとう。そして、選手のみならず共に走りきってくれてありがとう。思い通りの走りができなかったり、ベストが出せなかったりした人、あるいは逆に悔いなく走れた人、様々だろうが、みんなは間違いなく附属中学校駅伝部のベストメンバーだった。さて、これからはそれぞれがそれぞれの場所で戦うことになる。それでも僕たちはこの駅伝という経験から学んだ強さを武器に頑張っていける。そんな気がする。私たちの駅伝は、私たちの夏はまだ終わっていない。いつか、僕たちがつないだ襷を、次は後輩がつないでくれるはずだ。



3年 中島 さん

今、私の胸には達成感と仲間への信頼といった思いが溢れている。

ひたすら走り、襷をつなぐ、ただそれだけの競技。走るの自分一人。それでも私たち附属中駅伝部は、襷を通して学年、性別を超えた確かな絆を育んだ。女子では、一区の力丸さんが区間賞を取り、二区から五区まで襷をつなぎ総合で13位。男子は、一区から六区まで少しずつ着実に順位を上げ、総合で25位。男女ともに目標としていた県大会の出場は叶わなかったが、選手11人サポートメンバー20人の顔は、達成感で輝いていた。私自身は、今年選手に選ばれず、とても悔しく辛い思いでいっぱいだった。そんな私だったが、大会前日のミーティングで、一夏の練習を振り返ったときに、照りつける太陽の下、時には泣きながら練習に全力で取り組んでくれたのは、駅伝部の一員として襷をつなぐためだったということに気が付き、心から選手を応援したいと思った。私以外のサポートメンバーも、同じ気持ちであったと確信している。今年の駅伝部の戦いは終わったが、また来年も附属中駅伝部は、熱い思いを込めて襷を繋ぐ。御指導して下さいました先生方、応援して下さいました先生方、保護者の方々、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

水泳サークル 県新人大会 大活躍

高橋さん (2年)	100m自由形	第1位
	50m自由形	第1位
高橋さん (1年)	100m平泳ぎ	第2位
	50m平泳ぎ	第3位
阿部さん	100m平泳ぎ	第5位
	50m自由形	第3位
大和田さん	50m平泳ぎ	第7位
男子	200mリレー	第1位
男子	200mメドレーリレー	第1位
女子	200mリレー	第1位
女子	200mメドレーリレー	第1位
男子 総合		第1位
女子 総合		第3位

男子サークル長 上原 さん

一番印象に残っているのは、男子が13年ぶりに総合優勝を果たせたことです。女子も総合三位で、良い結果が残せてうれしいです。中でも、男女ともにフリー、メドレーリレーで合わせて四冠できたのは、チームのまとまりを証明できたと思います。2年の高橋が大会新記録を二回も達成できたことも心に残りました。一方で、来年の中総体に向けての課題も見つけることができました。泳ぎの修正点やトレーニングの改善点などを知ることができた良い機会でした。

今後は、優勝校としての振る舞いも大切になると思います。今まで以上に礼儀やマナーに気を付けて、普段の生活から競技に臨む姿勢をつくっていきたいです。